

万一の口蹄疫、豚熱等の発生に備えて
次期事業対策期間(令和6年度~令和8年度)の
家畜防疫互助事業
に参加しましょう!

公益社団法人

中央畜産会

JAPAN LIVESTOCK
INDUSTRY ASSOCIATION

〒101-0021

東京都千代田区外神田2-16-2

TEL 03-6206-0833

FAX 03-5289-0890

家畜防疫互助事業への加入にあたって

留意事項

- ① 牛・豚を飼育されている農家の方は、どなたでも加入できます。ただし、『飼養衛生管理基準』を遵守することが必要となります。
- ② 令和6年4月1日から開始される次期事業対策の申込期間は、**令和6年2月上旬から令和6年3月31日まで**です。
この期間を過ぎますと、新規就農者等を除き加入できません。
- ③ なお、今期事業対策期間(令和3年度～令和5年度)については現在新規就農者等を除き加入できません。

加入手続き

- ① 次期事業対策期間の事業内容等については、現在農林水産省等で検討中であり、今後変更があり得ます。
- ② 次期事業対策期間への申込の詳細は、事業内容や生産者積立金の単価が明らかになる令和6年2月上旬に加入手続きのパンフレットと申込用紙をお送りする予定です。

家畜伝染病は世界的に多く発生し、近隣諸国で蔓延

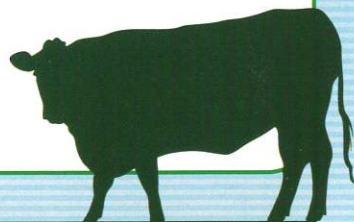
依然として世界的に発生している口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱等は、死亡率が高く、伝播力が強い家畜の悪性伝染病であり、畜産経営に重大な影響を及ぼすため、諸外国からの侵入防止の水際対策、早期発見と蔓延防止対策が重要です。同時に、畜産経営を守るために、万が一の発生に備えた家畜防疫互助事業への参加が極めて重要です。

我が国の口蹄疫・豚熱の発生状況

年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
口蹄疫	292	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚熱	0	0	0	0	0	0	0	0	6	45	10	15	9	4

口蹄疫

- 2010年に宮崎県で約10年ぶりに発生した口蹄疫により、約29万頭の家畜が殺処分となりましたが、2011年2月にワクチン非接種清浄国に認定されました。
- しかし、口蹄疫は世界的にも発生が継続しており、アジアでは2019年以降だけでも15か国・地域で発生しています。
- 特に、隣国の韓国では2023年5月に4年ぶりに口蹄疫の発生が確認され、我が国に侵入するリスクが極めて高い状況です。



韓国における口蹄疫の発生と我が国との関係

過去の日本での発生をみるとまず韓国で発生しています！

韓国における口蹄疫の状況(2023年5月以降) 2023年5月22日時点



2000年

2000年

2002年

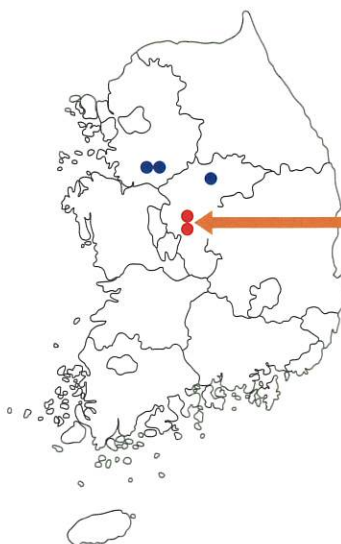
2010年～2011年

2010年

2014年～現在

STOP

侵入する可能性は非常に高い!!



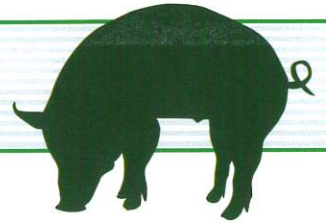
● : 2023年発生地点
● : 2019年発生地点(参考)

忠清北道(11件)

- 5月10日(確定日は11日)
清州市 牛:3件(O型)
- 5月11日
清州市 牛:1件(O型)
- 5月12日
清州市 牛:1件(O型)
- 5月14日
曾坪郡 牛:1件(O型)
- 5月15日
清州市 牛:1件(O型)
- 5月16日
清州市 牛:1件(O型)
山羊:1件(O型)
- 5月18日
曾坪郡 牛:1件(O型)
- 5月18日
清州市 牛:1件(O型)

豚熱 (CSF)

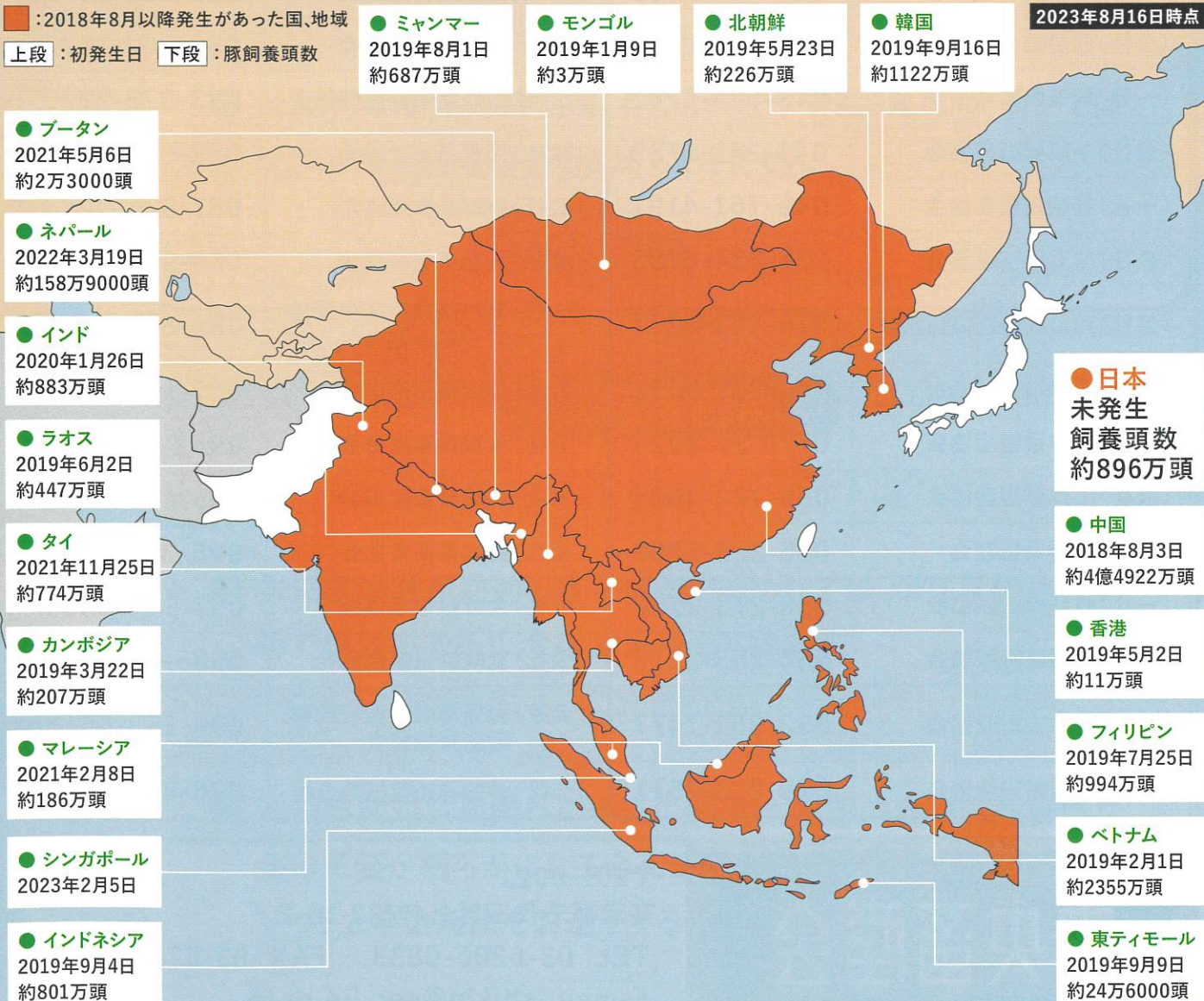
2018年9月に26年ぶりに豚熱(CSF)が岐阜県下で発生しました。以後、これまでに20都県下で89例の豚熱の発生が確認されています。(2023年8月31日現在)



アフリカ豚熱 (ASF)

豚熱には有効なワクチンが存在しますが、ワクチンや治療法が全くないアフリカ豚熱(ASF)はアフリカやロシア等欧州の一部のほか、2018年8月にアジアで初めて中国において発生して以降拡大を続け、現在アジアの18か国・地域で発生しており、大きな脅威となっています。

アジアにおけるアフリカ豚熱の発生状況



○出典: WOA-VAHIS (Animal disease eventsおよびQuantitative data)、各国当局HP
○発生日: WOAH報告による発生が確認された日
○飼養頭数: FAO統計(2021)参照

経営再開を支援する家畜防疫互助金

家畜疾病が発生した農家の経営再開を支援するため、家畜防疫互助金が交付されます。家畜防疫互助金は契約頭数、殺処分頭数、導入計画頭数のいずれか少ない頭数を交付対象頭数として算出し、生産者積立金と補助金を1/2ずつ拠出して交付します。

豚熱が発生し、これまでに互助金が交付された主な事例は以下の通りです。

※なお、家畜の伝染病の発生を予防、又はまん延を防止するために必要な措置を講じなかった農家には、互助金が減額又は支払われない場合があります。

A県の事例（家族型契約）

交付対象頭数			交付単価			互助金交付額
繁殖雌	繁殖雄	肥育	繁殖雌	繁殖雄	肥育	
頭数	頭数	頭数	円	円	円	万円
185	3	1,376	49,000	49,000	10,000	2,182

B県の事例（企業型契約）

交付対象頭数			交付単価			互助金交付額
繁殖雌	繁殖雄	肥育	繁殖雌	繁殖雄	肥育	
頭数	頭数	頭数	円	円	円	万円
650	60	4,557	57,000	57,000	12,000	9,515

C県の事例（企業型契約）

交付対象頭数			交付単価			互助金交付額
繁殖雌	繁殖雄	肥育	繁殖雌	繁殖雄	肥育	
頭数	頭数	頭数	円	円	円	万円
1,200	4	18,522	55,000	55,000	11,000	26,996